

あそびのししぴ

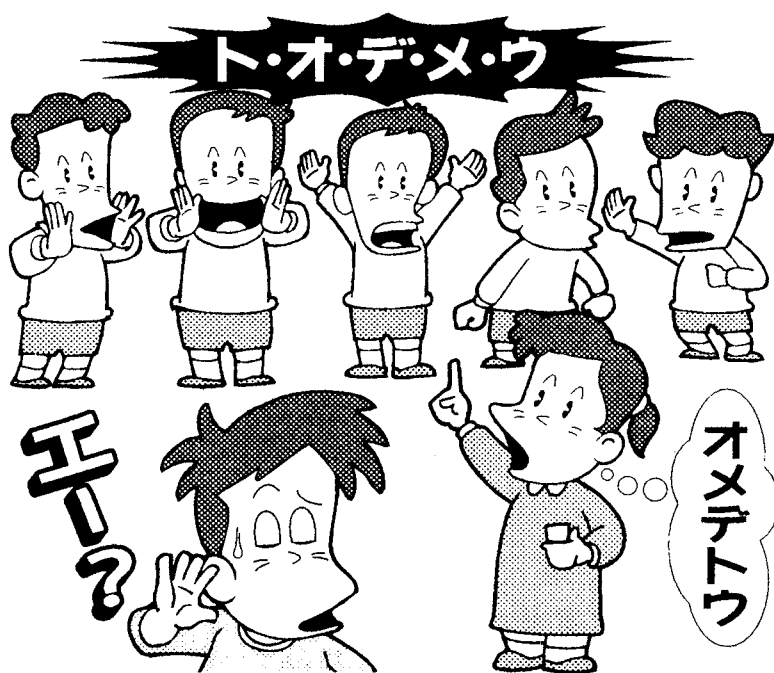
一斉の発声に耳を集中

デジタル放送

世の中には、理解の早い人

とそうでない人がいます。そこで、集団で物事を解決は、考え方や現状の分析、決するとき、一人一人が役割経験の積み重ねに、人によって、仲間意識が深まりますよね。

今回は、情報の量が増えてしまつて、自分一人では対応ができない場合に、仲間の力を借りて解決に向かう遊びを紹介します。問題解決に向け、楽しみながら知恵や工夫をそれぞれ出し合つて、遊びましょう。



- 【人数】 10—30人
- 【場所】 どこでも
- 【道具】 なし
- 【遊び方】

①まずは「ステレオ放送」から。メンバーの中から2人代表を決め、リーダーから「2文字」の言葉をもろう。たとえば、「ネコ」とか「トリ」など。

②代表の2人は、どちらの文字を言うかを決めて、「せーの」の合図で同時に叫ぶ。

③ほかのメンバーは、同時に言われた言葉を聞いて、もともとの言葉の意味を考える。

④分からない場合は、再度2人に叫んでもらう。もとの言葉が分かったら、代表を交代する。また、問題になる言葉も2人に考えさせてもよい。

⑤さあ、いよいよ「デジタル放送」のスタート。今度は、4、5人組をつくる。言葉も人数に合わせて増やす（4、5文字の言葉に）。

⑥聞く方も、今度はチームになって言葉の意味を考える。何回の発声で答えを見つけたかを競つてもよい。分からないグループのために答えの発表は紙に書いたり、ヒントをあげたりすると楽しくなる。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092 (882) 0363